

園内の植物

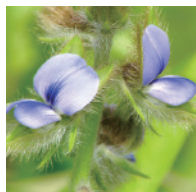
オキナグサ (キンポウゲ科)

環境省レッドリスト 2018 では絶滅危惧Ⅱ類、岡山県レッドデータブック 2009 では絶滅危惧Ⅰ類とされる絶滅危惧植物です。3月下旬～4月頃に花が咲き、5月頃白い綿毛となります。名の由来はこの綿毛を「翁」の白髪頭に見立てたものです。



スイラン (キク科)

中部地方以西の湿原などに生育する多年草で、細長い葉がまるでランの葉のようなので「水蘭」の名があります。岡山県では県下全域の湿原に生育しますが、園内の湿原では他では見られないほどの大群落となっており、10月上旬ごろには湿原全体が黄色いお花畑となります。



タヌキマメ



ミズトラノオ



リンドウ



山陽本線 倉敷駅より

タクシー約 10 分 / レンタサイクル約 15 分
徒歩 30 分



山陽自動車道 倉敷 IC より

植物園駐車場まで約 5 分 + 徒歩 3 分

- お車でお越しの場合は県道 469 号線沿いの植物園駐車場（倉敷市浅原 144-2）をご利用ください。
- 倉敷駅～植物園の間には、適当な公共交通機関はございません。

重井薬用植物園



HP

〒710-0007 岡山県倉敷市浅原 20
TEL : 086-423-2396
FAX : 086-697-5865
E-mail : shigeihg@shigei.or.jp
<http://www.shigei.or.jp/herbgarden/>

- 見学をご希望の方は事前に電話でご予約ください

重井薬用植物園

このふるさとは

清き流れがありてこそ！

ふるさとは

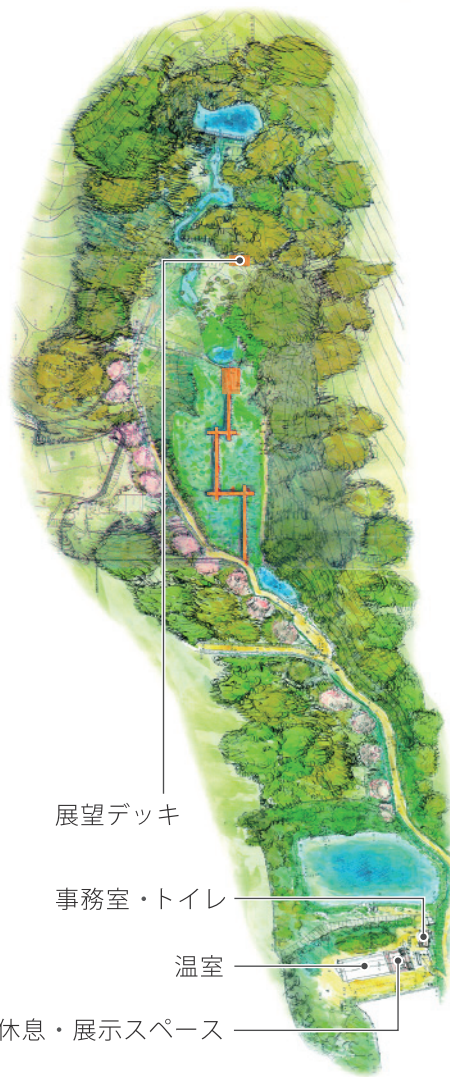
豊かな緑がありてこそ！



市民のために 素晴らしい自然を 残しておきたい

— 重井博

重井薬用植物園は、しげい病院（倉敷市幸町）や重井医学研究所と同・附属病院（岡山市南区山田）を運営する医療法人創和会の施設です。法人創設者 重井博の構想のもと、昭和 39 年（1964 年）より整備を開始して以来、半世紀以上にわたって地域の自然保護のために活動してきました。園内には、岡山県内および近県に分布する野生植物を幅広く収集して植栽・栽培しています。園内はそれら植物を利用する動物や昆虫などの楽園ともなっており、自然生態園としても見ごたえのある施設となっています。

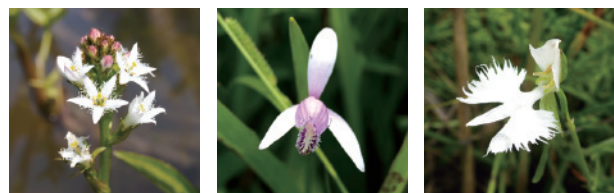


展望デッキ

事務室・トイレ

温室

休息・展示スペース



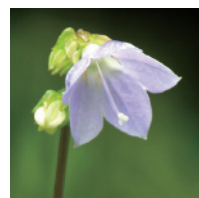
ミツガシワ

トキソウ

サギソウ

植物の種類数としては県内トップクラス

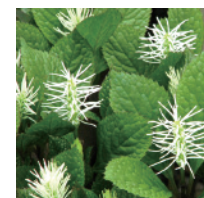
平成 18 年（2006 年）に行った調査では、植物園内で自生・植栽含めておよそ 140 科 800 種の植物が確認されました。これは岡山県内の自然系施設においてはトップクラスの種類数です。特に「環境省レッドリスト 2018」「岡山県版レッドデータブック 2009」のいずれかに掲載されているレッドデータ植物はおよそ 80 種以上あり、園内ではヤチシャジン、オグラセンノウ、サクラソウ、キビヒトリシズカ、キビノミノボロスゲなど貴重な植物を間近で観察することができます。



ヤチシャジン



サクラソウ



キビヒトリシズカ

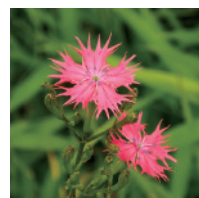


キビノミノボロスゲ

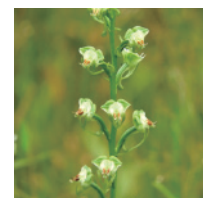
重井薬用植物園の

湿原

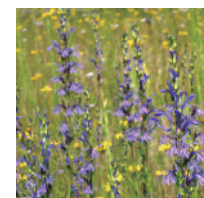
園内には約 1,400 m²の湿原があり、トキシウやサギソウをはじめ、オグラセンノウやヤチシャジン、ミズトンボ、スイラン、サワギキョウ、モウセンゴケなど様々な湿性植物が生育しています。湿原には車いすでも通行可能な木道が整備されており、どなたでも花々を観察することができます。



オグラセンノウ



ミズトンボ



サワギキョウ



モウセンゴケ